



新型コロナウイルス感染症 ヒトと動物の感染予防対策について 2022年4月1日現在



■ 2019年12月に、中国湖北省武漢市で新型コロナウイルス感染症が発生し、その後世界でまん延・流行が始まってから2年以上、ヒトからヒトに感染する流行が世界中で続いています。

新型コロナウイルス感染症診療の手引き 第7.0版 <https://www.mhlw.go.jp/content/000904149.pdf>

■この間に、ネコやイヌといった伴侶動物での新型コロナウイルス感染症の発生も、とても少ない事例ではありますが、確認されています。本会としては、発生初期から、香港におけるイヌでの感染の報告や、その後の伴侶動物での発生状況を注視してきました。OIE Events in animals <https://www.oie.int/en/what-we-offer/emergency-and-resilience/covid-19/#ui-id-3>



当初、伴侶動物からヒトへの感染が起こる可能性を排除出来なかったため、ヒトの陽性患者が飼育していた伴侶動物を預かる際に、14日間の隔離及び個人用防護具の使用を推奨してきました。 本会HP <https://www.tvma.or.jp/public/items/1-20200604.pdf>

■しかし、この2年強で様々な知見が集積されてきました。

1) 狭いケージにネコを複数頭入れて、実験的に感染させると、すぐ隣に並べたネコに感染が起こることが報告されています。

東大 新型コロナウイルスはネコの間で感染伝播する

https://www.ims.utokyo.ac.jp/imsut/jp/about/press/page_00004.html

2) ネコやイヌ、ミンク、大型のネコ科動物、類人猿を始め、多くの動物種でヒトから感染することも判ってきました。特に、ミンク牧場のような特殊な環境下や北米大陸の野生の鹿では動物間や動物からヒトへの感染も証明されています。多数の事例が判ってきましたが、現時点に於いても、世界保健機構（WHO）、アメリカ疾病予防管理センター（CDC）等を始めとする保健機関や、国際獣疫事務局（OIE）を始めとする獣医学機関は、現在の新型コロナウイルス感染症の流行はヒトからヒトへ感染することで維持されていると考えています。



WHO Could the virus be transmitted from humans to food animals or vice versa?

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/question-and-answers-hub/q-a-detail/coronavirus-disease-covid-19-food-businesses>

CDC Animals and COVID-19 <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/daily-life-coping/animals.html>

OIE COVID-19 <https://www.oie.int/en/what-we-offer/emergency-and-resilience/covid-19/>

■本会では、以上を踏まえ、現時点では、新型コロナウイルス感染症は、適切な環境で飼育している伴侶動物からヒトへの感染の可能性は限りなく低いと判断しました。一方、集団で飼育されているミンクから、ヒトへの新型コロナウイルス感染症の感染は明らかに起こりえますので、ミンクと近い種類のフェレットについても、注意しておくべきでしょう。

そのため、新型コロナウイルス陽性者が飼育している無症状の伴侶動物を預かる際には、隔離・個人用防護具の使用・シャンプーをする必要はないと考えます。

陽性者が飼育していた動物を預かる際、その動物が何らかの症状を示している場合には、掛かり付けの獣医師に相談して下さい

